

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		小学校英語活動推進事業						予算事業名		小学校英語活動推進事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				10	01	03	07	経常経費							
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業					
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり													
		学校教育の実践						担当課係等		学校教育課					
						指導課									
事業期間		継続 (平成26年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
英語専門指導員との生きた外国語活動（英語）を通して、英語に慣れ親しませ、中学校英語へのスムーズな移行を図る。								文部科学省の小中高等学校を通した英語教育全体の根本的拡充の方針により、各市とも積極的に取り組んでいる。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
小学校1年生から4年生に対して、英語専門指導員と教員で外国語活動を実施する。 ・小学校1・2年生（年間10時間） ・小学校3・4年生（年間35時間）								小学校児童							
								【事業をとりまく環境の変化】 学習指導要領が改訂され、小・中・高等学校で一貫した外国語教育が求められている。本市では、「外国語指導助手派遣事業」と併せて、英語教育の充実に努める。							
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】							
小学生1・2年生が年間10時間、小学校3～4年生が年間35時間実施する。また、教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し、質の向上を図る。				小学生1・2年生が年間10時間、小学校3～4年生が年間35時間実施する。また、教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し、質の向上を図る。				小学生1・2年生が年間10時間、小学校3～4年生が年間35時間実施する。また、教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し、質の向上を図る。							

■事業費

		R04年度		R05年度				
財源内訳	国庫支出金	0	0					
	県支出金	0	0					
	地方債	0	0					
	その他	0	0					
	一般財源	3,511	3,513					
歳入計（千円）		3,511	3,513					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）					
	07 報償費	3,220	3,220					
	10 需用費	268	270					
	11 役務費	23	23					
歳出計（千円）（A）		3,511	3,513					
伸び率（％）			0.05					
備考								

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	小学校実施時間数	時間	目標	810.00	810.00	810.00
	・小学校1・2年生（年間10h） ・小学校3・4年生（年間35h）		実績	828.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	外国語（英語）学習が必須科目となったため、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外では、できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	課題を探りながら、改善を図っていく。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	A 改善の余地はない	一般的であると判断する。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に便益が提供されている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	児童が外国語（英語）に触れる時間が確保でき、学習意欲が高まっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	改善策を検討しながら継続していきたい。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
外国語担当教員及び英語専門指導員の指導力を、さらに向上させる必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
研修会等を開催して、指導力向上を図りたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 小学4年生までの外国語活動が小学5年生以降の英語の学習に生かされるよう、「外国語指導助手派遣事業」との連携した取組を検討していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	